

## 令和4年度 学校関係者評価書

<b>学校名</b>	和歌山市立伏虎義務教育学校
<b>作成日</b>	令和5年3月10日

### 1 教育目標

**心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成**

### 2 学校自己評価についてのご意見

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある 優しい子供	健やかに、たくましく生きる 元気な子供	地域とともにある学校
<b>指標</b>	<b>学校評価アンケート</b> ・毎日の勉強がわかる。 ・授業は楽しく分かりやすい。  <b>全国学力学習状況調査</b> ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 ・資料や文章、話の組立てを工夫して発表できる。	<b>学校評価アンケート</b> ・学校が楽しい。 ・私はそうじを一生懸命している。 ・誰にでもあいさつができる。(前期) ・気持ち良い挨拶をしている。(後期) ・私は友達となかよくしている。 ・相手や場に応じた言葉づかいができる。(後期)	<b>学校評価アンケート</b> ・将来の進路や職業について適切に指導している。(後期保護者) ・自分の将来の進路や生き方について考えることができています。(後期) ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(保護者)	<b>学校評価アンケート</b> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えていている。(保護者)
<b>意見 重点 目標 に対する</b>	・「毎日の勉強が分かる」の肯定的回答がよい数字で驚いたが、後期になるとやや下降しているのが心配です。 ・先生方は、地域の環境や産業の特色を熟知され、「わかやま創造科」が有意義な授業になるよう工夫している。	・勉強は成長過程で必要で、学校に行き、学び、また友達の輪が広がる場である。掃除は生活で大事なことである。 ・子供は「ほめる」ことにより成長していくので、大切だと思います。 ・学習発表会は保護者も見学ができ、子どもの成長を知るよい機会になっている。	・体験活動、いろいろな経験ができることはよい。子供の時から成長するにつれ、何か役に立てられるのではないか。子供のころは、目標を持つことや夢を持つことで少しでも近づければと思う。アドバイスが大事。	・「学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えていている。(保護者)」で約1割の保護者が否定的な意見であったのが気になる。 ・学校の様子を引き続き、地域に発信してほしい。
<b>意見 取組 状況 に対する</b>	・全国学調の結果を見る限り、取組が成果に表れていると考えられる。 ・全国学調の結果が全体的に良好でよい。理科で改善を期待する。 ・学校評価アンケートによると、「学校が楽しい」「勉強がわかる」等、良い結果が多いのは、先生方の子どもへの接し方、教え方に色々な工夫がされているからだと思う。また、このような工夫が、全国学力学習状況調査の結果に表れたのだと思う。	・あいさつは、明るく大きな声で先手を取ることが、1日の始まりでよいスタートが切れる。 ・コロナのなかで、「学校は楽しい」がすべての学年で多いのはすごいかと思います。 ・「私は友達となかよくしている。」に肯定的な意見の割合が非常に高く驚いている。	・「先生は質問や疑問に丁寧に答えてくれる」などの肯定的な回答が高く、先生と児童生徒との関係がよいと感じる。	・コロナ禍の中、学校にはあまり行けないが、伏虎通信で子供たちの活動が感じられうれしく思います。 ・「将来の進路や職業について適切な指導をしている」で約42%もの保護者が「わからない」と回答している。もっと保護者に伝える工夫が必要と考える。
<b>意見 取組 の 適切 さの 検証 結果 に対する</b>	・「毎日の勉強が分かる」の肯定的回答が私の思っていたより良い数字だったが、わからないと答えた児童生徒にも焦点を当て、原因を探してほしい。  ・全国学力学習状況調査で、良好な結果がでているので、学力面の学校の取組は適切と考える。	・見守りのときなど、多くの児童が挨拶してくれる。挨拶のできる元気な子どもを見てると、こちらも元気がもらえる。 ・朝の挨拶運動(児童生徒会)の効果が出ているように思う。 ・「学校が楽しい」が、前期 低99%中96%高97%後期91%であるが、学校は本来楽しいところであるべきだと思う。楽しくなければ勉強や運動や友人関係などが上手いかな。	・先生は、子供たちとよく話をし、今以上に距離が縮まるように努力をお願いします。また、将来の進学などについて、先生と親がよく相談できるように距離を縮めるよう心掛けてください。 ・小中一貫教育の中、児童が前期から後期へとスムーズに進級していると感じる反面、後期生になるという緊張感が薄れていないか心配。 ・なんにでもルールがある。野球やサッカー、バスケットボールでも、ルールがある。社会にもルールがあることが分かればよい。	・保護者アンケートの結果は、全体的に良好な結果が多いが、「どちらかと言えばそう思う」が圧倒的に多い。肯定的な意見の中でも、「そう思う」を増やしてほしい。 ・コロナ禍でも、商店や地域人材との連携が取れていることに驚いている。 ・図書館ボランティアの方々のおかげで子供たちが楽しく本に接している姿が目につきます。 ・伏虎通信では、児童生徒のスポーツでの頑張りや地域の事業所の見学等、楽しみに読んでます。
<b>改 善 年 度 法 に 向 け て の 意 見</b>	・子供によって「できる」「できない」の差が生まれるが、落ちこぼれが無いようにできれば勉強も楽しくなる。子供同士、子供と先生、子供と親、親と先生の距離感が大事だと思う。 ・アンケート結果は、概ね良好な結果であるが、「あまりそう思わない」「思わない」の意見が、少数あることにも目を向けて取り組んでほしい。	・学校での挨拶、登下校時の挨拶ができる子を育ててほしい。 ・アンケート結果は、概ね良好な結果であるが、「あまりそう思わない」「思わない」の意見が、少数あることにも目を向けて取り組んでほしい。 ・前期後期合同の行事が開催できるのは、義務教育学校の特色で、兄弟姉妹がいない子も自然に下級生に対し、思いやりをもって接するようになるだろうし、下級生も、上級生に大切にもらった経験を、さらに下の学年につなぐようになると思う。	・コロナ禍が完全には終息していませんが、できる限りの努力をされていると思います。来年度もどうかよろしくお願いします。 ・職場体験は、リアルな社会生活がわかり、生きていくのに必要なことが学べるうえ、親への感謝の気持ちも育まれると思う。是非、継続していただきたい。	・感染症が終息したら、地域、各連合自治会などと協力して伏虎を盛り上げていきたい。 ・雄湊まつりや三世代交流等、地域の方とコミュニケーションを通し、子どもの健全な育成を見守っていただける様に思います。

### 3 その他のご意見

・コロナ禍により活動が制限される中、先生方の指導の難しさを感じます。また、先生方の努力に感謝申し上げます。  
 ・先生方の地域への思いや心遣いを感じられます。私たち地域も、出来ることをお手伝いしたいと思います。  
 ・運営協議会での給食体験や給食へのアンケート結果から、栄養士の先生、調理担当の方々のご苦労に敬服し感謝します。  
 ・学力は勿論大切ですが、それだけでなく、「わかやま創造科」(総合学習)では、人とかかわり等、将来を通して重要となる人間形成(大袈裟ですが)に関わることも学ぶことができるので、よい取り組みだと思ふ。  
 ・これからのデジタル社会を考えると、低学年(2・3年)からタブレットを使った授業を増やしていくとよいと考える。  
 ・「わかやま創造科」等で、地域の方に講義を頂くなどして、身近な歴史・伝統・文化を学んだり、儀式的行事を体験させていただいたりするのもいいと思います。また、戦争体験者の方から、貴重な体験談を聞く機会を持ち、平和な世への感謝の気持ちを持ってもらえたらと思います。